

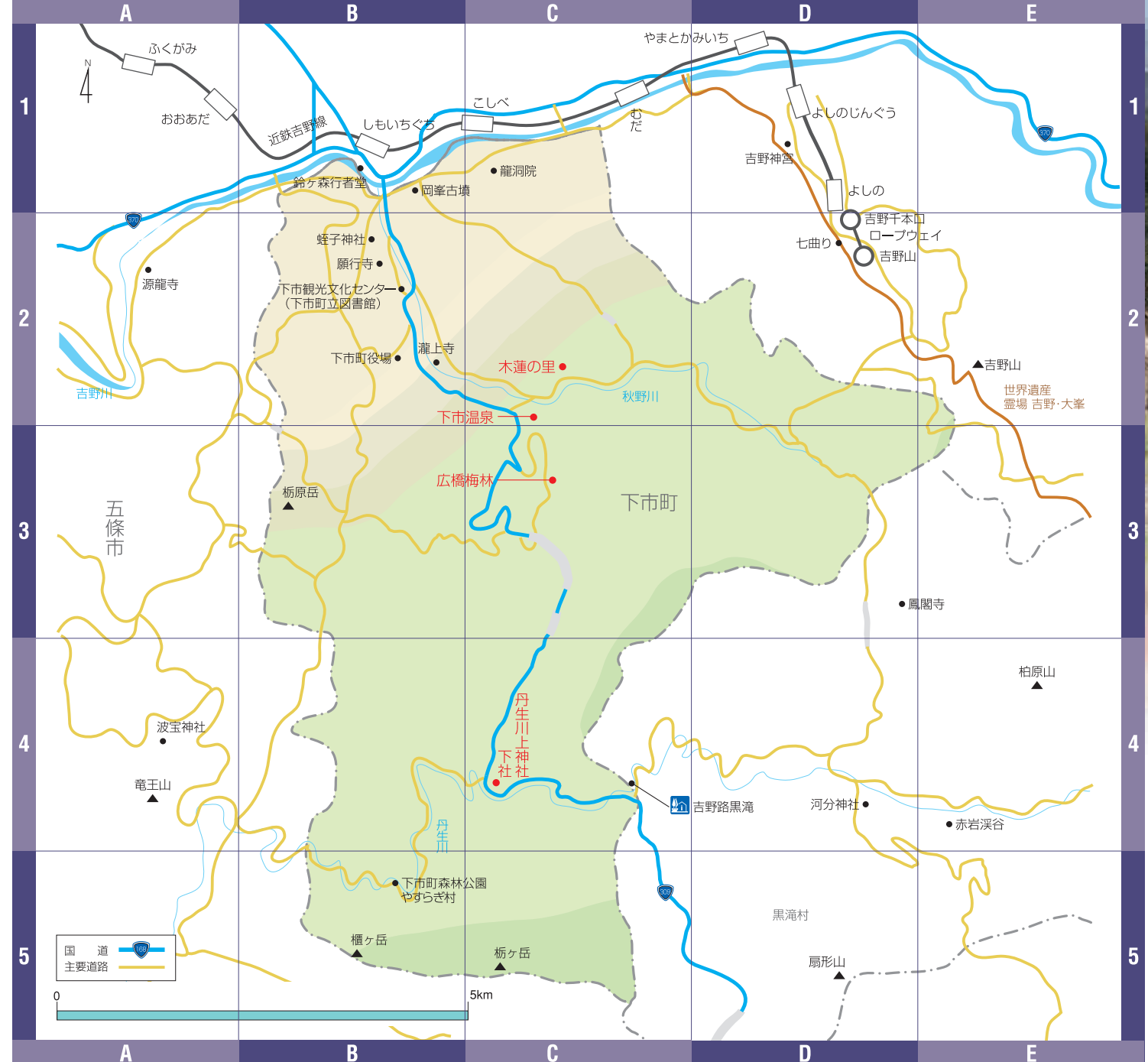
下市町

Shimoichi Town



交易地として古くから発展
自然を感じ、歴史を思う安らぎの町

吉野川の南に接し、平安時代から吉野への入口、吉野山地と大和平野を結ぶ交易地として、市場が立つなど産業・商業で栄えてきました。商人たちは持ち運ぶには重たい銀貨の代わりに、銀目を書いた紙を発行していましたが、それが日本最初の商業手形とされる「下市札」です。縄文・弥生時代の遺物が発見されるなど町の歴史は古く、天武年間創建の丹生川上神社下社など由緒ある社寺も多くあります。温泉や川遊び、梅林など自然の恵みに囲まれて手足を伸ばして過ごせます。



下市の特産品



吉の箸

割り箸発祥の地といわれる下市町。南北朝時代、南朝の後醍醐天皇が吉野杉の箸を献上したところ、美しい木目と芳香が喜ばれ、愛用されました。お土産や贈り物にも適しています。



こんにゃく

伝統の缶蒸し製法などで作られる下市町のこんにゃく。じっくりと手間ひまをかけて、弾力の効いた滑らかな食感に仕上がります。さしみ、田楽、おでん、すきやき…などに。

翁醤油

町には江戸時代から続く醤油醸造所が残っています。モロミを1年以上かけてじっくりと熟成させた翁醤油は、コクがありながらまろやかな口あたりが特徴です。



合格箸

高級品の「らん中」から庶民的な「天削」「元禄」など割り箸の種類もいろいろです。五角形の割り箸は「五角＝合格」「割＝勝つ」をつかむお箸。あやかりたい受験生に人気です。



くず

良質の本葛として知られる吉野葛。くず湯、くずざり、くず餅、ごま豆腐…。吉野の里が生んだ昔ながらの食味をぜひ。健康食品としても注目されています。

下市の観光スポット

MAP C-3

広橋梅林

月ヶ瀬、賀名生と並ぶ奈良県三大梅林のひとつ。春の訪れが待ち遠しくなる頃、約5千本の紅白の梅たちが彩りと香りを振りまきます。散策コースがあり、展望デッキからの見渡す眺めは格別です。



MAP C-4

丹生川上神社下社

白鳳4年(676年)の創建と伝わり、水の神として朝廷に保護されました。幕末に天誅組討伐の兵火に遭い、本殿や拝殿は明治期に再築されたもの。川上村の上社、東吉野村の中社とともに、旧官幣大社丹生川上神社の一社です。



MAP C-2

木蓮の里

梅の花が役目を終える頃、今度は秋野川沿いでモクレンの木々が大輪を開きます。その後、花は桜へと一。季節を彩る花々を巡ってみませんか。



MAP C-2

下市温泉

初夏に蛍が舞う清流・秋野川のほとりに湧く静かな温泉。お肌に優しい炭酸水素塩泉にゆったりとつかると心身リフレッシュ。サウナやジャグジー、冷泉風呂もあります。

